

作成日 2022 年 11 月 14 日 (第 3 版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	アピログロウ® MX 1 キロ粒剤
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海 1 丁目 8 番 10 号オフィスタワーX 21 階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1027
E メールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
推奨用途及び使用上の制限	除草剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類		
健康に対する有害性	発がん性 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1A 区分 1(呼吸器系) 区分 1(呼吸器系、腎臓)
環境に対する有害性	水生環境有害性、短期(急性) * 記載がないものは「区分に該当しない(分類対象外を含む)」または「分類できない」	区分 1

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

発がんのおそれ。
臓器の障害(呼吸器系)。
長期わたる、又は反復ばく露により臓器の障害(呼吸器系、腎臓)。
水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手する。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
粉じんを吸入しない。
取扱い後は手をよく洗う。
この製品を使用するときに、飲食、喫煙をしない。
環境への放出を避ける。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用する。

【応急措置】

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受ける。
 気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受ける。
 漏出物を回収する。

【保管】

施錠して保管する。

【廃棄】

内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名【一般名】	エチル=5-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルバモイルスルファモイル)-1-メチルピラゾール-4-カルボキシラート 【一般名：ピラゾスルフロンエチル】 (RS)-7-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルチオ)-3-メチル-2-ベンゾフラン-1(3H)-オン 【一般名：ピリフタリド】 2-クロロ-2',6'-ジエチル-N-(2-プロポキシエチル)アセトアニリド 【一般名：プレチラクロール】 2-(4-メシル-2-ニトロベンゾイル)シクロヘキサン-1,3-ジオン 【一般名：メソトリオン】

成分	含有量(%)	化学式	官報公示整理番号(安衛法)	CAS番号
ピラゾスルフロンエチル	0.3	C ₁₄ H ₁₈ N ₆ O ₇ S	8-(2)-1400(安衛法)	93697-74-6
ピリフタリド	1.5	C ₁₅ H ₁₄ N ₂ O ₄ S	8-(2)-1940(安衛法)	135186-78-6
プレチラクロール	4.5	C ₁₇ H ₂₆ ClNO ₂	4-(7)-1362(安衛法)	51218-49-6
メソトリオン	0.90	C ₁₄ H ₁₃ NO ₇ S	7-(4)-1262(安衛法)	104206-82-8
界面活性剤、鉱物質微粉等	92.8	—	—	—

4. 応急措置

吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 気分が悪い場合、身体に異常を感じた場合には医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合:	汚染された衣類を脱ぎ、付着又は接触部を多量の水と石けんで洗う。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当を受ける。汚染された衣類は再使用する場合には洗濯する。
眼に入った場合:	直ちに清浄な流水で 15 分以上洗浄する。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗う。医師の診断、手当を受ける。
飲み込んだ場合:	無理に吐かせないで直ちに医師の手当てを受けさせる。可能であれば容器、ラベル又はこのデータシートを医師に示す。
医療関係者への情報:	特定の解毒剤は報告されていない。 対症療法を行う。

5. 火災時の措置

消火剤	噴霧放水、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の危険有害性	火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特定の消火方法	周辺火災の場合、危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動不可能な場合には、容器及びその周囲に散水して冷却する。汚染された消火水を排水路や河川等に流入させてはならない。
消防士へのアドバイス	
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境に影響を与えないように注意する。 危険でなければ漏れを止める。
封じ込め、浄化の方法及び機材	飛散を防ぐため少量の水で湿らせたのち掃き集めるか、専用の電気掃除機などで漏出物を吸引し、密封できる廃棄物用容器に回収する。回収後、汚染部を水で洗浄する。
二次災害の防止策	風下の人を退避させ、漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 適切な保護具を着用し、眼や皮膚への接触や粉じんの吸入を避ける。 作業は換気のよい場所で行う。 取扱い時には飲食、喫煙をしない。 製品の飛散、漏出等がないようにする。 ラベルをよく読んでから、保管・使用する。
保管	<ul style="list-style-type: none"> 容器を密封して換気のよい冷暗所で保管する。 小児の手の届かない所に保管する。

- ・食品や飼料と区別して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱い時にはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。 ・取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。 		
管理濃度	TWA 値 (シンジェンタ社)	ピリフタリド	1mg/m ³
		プレチラクロール	4mg/m ³
		メソトリオン	10mg/m ³
許容濃度	日本産業衛生学会	未設定	
	ACGIH	未設定	
保護具	呼吸器用の保護具	防塵マスク	
	手の保護具	不浸透性手袋	
	眼の保護具	ゴーグル型保護眼鏡	
	皮膚及び身体の保護具	耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等	

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	固体	
色	淡灰色	
pH	5.3 (20%水懸濁液)	
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし。	
引火点	引火しない。	
自然発火温度	データなし。	
見掛け比重	0.94	
オクタノール／水分配係数	ピリフタリド	log Pow 2.6 (25°C)
	プレチラクロール	log Pow 3.9 (25°C)
	メソトリオ	log Pow 0.11 (20°C)

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下では安定。
反応性	ほとんどないと考えられる。
危険有害反応可能性	通常の条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	取扱条件に従っているとき、特になし。
混触危険物質	知見なし。
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。

加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性

経口 LD50 ラット >2000mg/kg (♀)

経皮 LD50 ラット >2000mg/kg

皮膚腐食性/皮膚刺激性 ウサギ 刺激性なし。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 ウサギ 軽度の刺激性。
(洗眼効果あり)

呼吸器感作性又は皮膚感作性 モルモット 陰性。

慢性毒性

発がん性 区分 1A に分類される結晶質シリカをカットオフ値の 0.1%以上含有している
るので区分 1A とした。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分 1 (呼吸器系) に分類される結晶質シリカをカットオフ値の 1.0%以上含有している
るので区分 1 (呼吸器系) とした。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分 1 (呼吸器系、腎臓) に分類される結晶質シリカをカットオフ値の 1.0%
以上含有しているので区分 1 (呼吸器系、腎臓) とした。

12. 環境影響情報

生体毒性:

魚毒性 コイ LC50 (96hr) 51mg/L

甲殻類毒性 オオミジンコ EC50 (48hr) 11mg/L

藻類毒性 緑藻 ErC50 (72hr) 0.067mg/L

13. 廃棄上の注意

注意事項

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送

・国連番号	UN3077
・国連輸送名	環境有害性物質(固体)、N.O.S.(プレチラクロール)
・国連分類	9
・容器等級	III
・ラベル	9
・環境有害性	該当
航空輸送	
・国連番号	UN3077
・国連輸送名	環境有害性物質(固体)、N.O.S.(プレチラクロール)
・国連分類	9
・容器等級	III
・ラベル	9 その他有害性物件
・梱包指示(貨物機)	956
・梱包指示(旅客機)	956
・梱包指示(少量輸送許 容物件)	Y956
・環境有害性	該当
海上輸送	
・国連番号	UN3077
・国連輸送名	環境有害性物質(固体)、N.O.S.(プレチラクロール)
・国連分類	9
・容器等級	III
・ラベル	9
・EmS コード	F-A, S-F
海洋汚染物質	該当
輸送時の安全対策	運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。直射日光、風雨に直接暴露しない状態で輸送する。消防法の定めに従う。

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 23452 号
労働安全衛生法	第 57 条 通知・表示義務対象物質 結晶質シリカ(40%) 酸化アルミニウム(3.2%) 固形パラフィン(2.1%)
化管法	プレチラクロール 第 1 種指定化学物質 ピリフタリド(2023 年 4 月 1 日以降、第 1 種指定化学物質)
毒物及び劇物取締法	該当しない

16. その他の情報

記載内容の取扱い

製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。

問合せ先

担当部門 電話番号
HSEグループ 03-6221-1027

中毒の緊急問合せ先

公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け受信相談 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1 件につき 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9-21 時)	029-852-9999	029-851-9999

アピログロウ®はシンジェンタ社の登録商標です。